

県民の森だより



「今月の行事より」



県民の森の

クリスマス会 12/11

12月11日、県民の森の恒例行事となったクリスマス会が行われました。

集まった子供たちは33人。クリスマスツリーの飾りつけをしていたら、突然現れたハチマンタイラーにビックリ。そのあと絵合わせ、じゃんけんゲームなどを楽しみ、タイラーグッズのプレゼントをもらってテンションは上がる一方。

タイラーが帰って行った後にはサンタクロースも登場。お菓子のプレゼントもたくさんもらい、ひとあし早いクリスマスを楽しみました。



岩手県 県民の森管理事務所



〒028-7302

岩手県八幡平市松尾寄木1-515-5

TEL・0195-78-2092

FAX・0195-71-1778

<http://kenminnomori.com/>

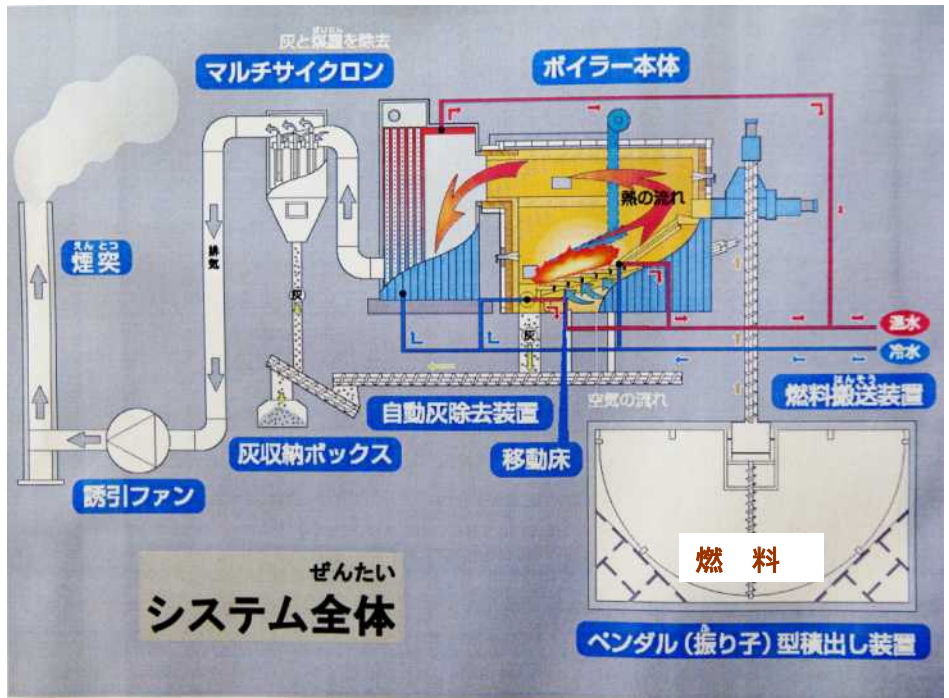
E-mail forest@kenminnomori.com



県民の森の エコ暖房 その 「チップボイラー」



ダンプでチップをサイロに投入します(上) 燃料の木質チップ(下)



冬の学習館に入ったことがある方はお気づきと思いますが、実は床暖房が入っているんです。エーッ！あんなに広いところに、もったいない。と思うのがエコ社会の常識？かもしれません。

ところが、ボイラーの燃料が「木質チップ」となると、話が違ってきます。今まで枝打ちや間伐、製材の過程等で処分にお金を掛けたり、捨てたりしていた「厄介物」が燃料になるのです。

こまめに入れたり、切ったりということは出来ませんが、学習館では厳しい冬の間このボイラー1台で空調・床暖をまかなうことができます。学習館ができた7年前は、国産はあまり開発されていなかったために、スウェーデン製です。一般家庭のファンヒーター50台分の能力なそうです。

なんで木を燃やしても二酸化炭素が増えないの
石油や石炭とおんなじでねーの？

(お答えします)

たしかに木材が燃えるときにも二酸化炭素は排出されます。では、石油や石炭とどこが違うのでしょうか。

石油や石炭は化石燃料と呼ばれるとおり、大昔の地球で微細な生物や樹木が地中深く堆積して出来たもので、燃やせば無くなってしまい二酸化炭素だけが残ります。これに対し木材は、もともと地球の大気中にあった二酸化炭素を取り込んで出来ています。燃えれば二酸化炭素を出して無くなりますが、植林して樹木が育つ過程で二酸化炭素を取り込みます。ですからプラスマイナスゼロになると考えることが出来るわけです。

チップは多少濡れていても大丈夫。完全燃焼させるため、煙は目に見えません。残りの灰も極わずかで、そのまま肥料に使うことも出来ます。



床暖房のホールには子供たちのお遊びコーナーも



県民の森散策スポット

県民の森の散策スポット。今回は学習館から七滝までの散策コースのほぼ中間点にある、野鳥観察舎です。

野鳥観察舎

七滝コースの中間点
周辺の整備を実施中

県民の森学習館から七滝への散策コース(約 3,4km)のほぼ中間にあるのが「野鳥観察舎」です。手前には少し開けた場所にテーブルもあり、トイレも利用できるので散策の休憩場所によく使われています。

この小屋の出来た昭和 40 年代は、野鳥観察用の小屋として利用されていましたが、その後小屋の周辺に樹木が生い茂り、野鳥の観察には適さなくなって、最近ではトイレのほかは、ほとんど利用されなくなっていました。

今回、小屋の再利用を図るため、まずは周辺の樹木の整備をすることにし、NPO法人いわて森林再生研究会のご協力を得て整備を行いました。今後も小屋周辺の刈払いなどの整備を行い、来春からは散策時の休憩場所としても活用いただける予定です。



内部には観察用の小窓と椅子が並んでいます

県民の森行事予定

スノーシュー体験

1月 12日(木)・22日(日)
10時開始～12時終了



大人 1000 円(温泉券付)
子供 500 円

初心者対象。スノーシューを履いて雪の県民の森を自然観察。スノーシューレンタル料 1 台 500 円。(定員 15)

クロカン入門教室

1月 15日(日)・29日(日)
10時開始～12時終了
大人 1000 円(温泉券付)



初心者対象。1 回の参加でも滑られるようになります。県民の森圧雪コースを使います。スキーレンタル料 1 台 1000 円。子供はご相談下さい。(定員 10)

七滝氷瀑ツアー

2月 5(日) 12(日)・
18(土) 19(日) 25(土)
26(日)親子 (定員各 15)
9時開始～3時半終了
大人 1000 円(温泉券付)
子供 500 円(小学 4 年以上)
スノーシューレンタル 500 円



県民の森お宝拝見

県民の森の自然展用に作成した植物画と毛筆による説明文をご紹介します。

「県民の森に親しむ会」の大和敬子さんの作品で、今回は「ツルアジサイ」です。



森の中はいま

県民の森学習館から100m程のミズバショウ園。ここにもいよいよ冬到来。12月10日の朝、長靴を履いて訪ねると、この時季ならではのギャラリーが迎えてくれました。

池では氷の中からミズバショウの芽がニョッキリ、もう来春の準備をしているんですね。



園入り口のツルウメドキ・蛇捨清水もだいぶ細くなりました



リスたちは木に上ったり下りたり忙しそう



温泉の混じる付近だけはまるで春です



アスキノ穂には霧水がビッシリと

追加行事のお知らせ

みなさんのご要望にお応えし、盛岡駅発着の「スノーシュー体験」を2回行います。期日は1月29日(日)と2月4日(土)。マリオス前9時出発、15時解散予定。スノーシューを履いて県民の森内を1時間半ほど散策します。氷瀑ツアーの足慣らしにもどうぞ。くわしくは県民の森のチラシ、またはお電話で。(昼食・温泉付き)

編集後記

大雪に始まり、3.11の大震災。という私たちが経験したことの無い一年が終わろうとしています。来年は平和でおだやかな年になることを願わずにはられません。人間社会ではあらゆる事で変化が激しく、忙しく時が過ぎ去りますが、自然の中では太古の昔からゆったりとした営みが流れ、ときに心とまされます。どうぞ来年も県民の森をご利用下さい。